



# 貴志康一・生誕100年記念シンポジウムとコンサート 時空を超える貴志康一 音楽が拓く未来

学校法人甲南学園・朝日新聞社共催  
甲南学園創立90周年記念  
甲南平生国際フォーラム特別企画



©K.Miura  
オペラ歌手  
中嶋 彰子

Kishi Koichi

2009年1月18日(日)13:00~  
新神戸オリエンタル劇場

# 貴志康一 生誕100年記念 にあたって

旧制甲南高等学校に学んだ貴志康一(1909-37)は、ジュネーヴ音楽院やベルリン高等音楽学校でヴァイオリニストとしての腕を磨くとともに、作曲・指揮にもその才能を發揮した日本を代表する音楽家です。

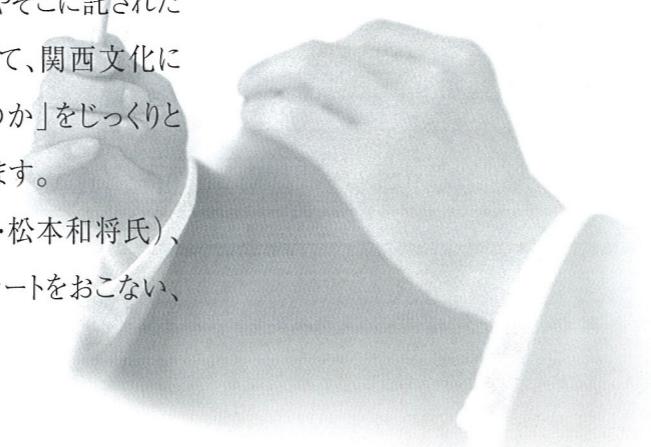
三度目の渡欧となった1934年、近衛秀麿に次ぎ、日本人として2番目にベルリンフィルを指揮した彼は、交響組曲「日本スケッチ」、交響曲「仏陀」、ヴァイオリン曲「竹取物語」(1949年、湯川秀樹博士がノーベル物理学賞を受賞した際の晩餐会で流された曲)などを発表。帰国後は宝塚交響楽団、新交響楽団(現在のNHK交響楽団)などを率いてコンサートをおこないますが、まもなく病に冒され、28歳という若さで夭逝しました。

貴志康一生誕100年にあたる2009年は、甲南学園創立90周年にもあたります。現代の日本人の多くが忘れてしまった貴志康一という豊かな才能とその業績をあらためて心の奥深くに記憶し、甲南学園が貴志康一という個性ある人間を育み、慈しんだことを広く知っていただくために、貴志康一生誕100年記念シンポジウムとコンサートを開催します。

シンポジウムでは、パネリストそれぞれの専門や経験を貴志康一と結び合わせながら、彼の作品を音楽史のなかに置き直し、その芸術性やそこに託された彼のメッセージなどを心にとどめ読み解くとともに、日本にとって、関西文化にとって、そして甲南学園にとって、「貴志康一とは何だったのか」をじっくりと見直し、そこから未来に拓かれる可能性へ議論を広げていきます。

また、シンポジウム終了後、オペラ歌手・中嶋彰子氏(ピアノ・松本和将氏)、フルート奏者・古田悠子氏(ピアノ・増田明子氏)によるコンサートをおこない、貴志作品の魅力を直接、皆さんにお届けします。

どうぞお楽しみください。



## プログラム

吉沢英成(学校法人甲南学園理事長)

「貴志康一とその時代」

小松一彦氏(指揮者・大阪芸術大学大学院教授)

「時空を超える貴志康一——音楽が拓く未来」

### ■パネリスト

小松一彦氏

中嶋彰子氏(ソプラノ歌手)

小野高裕氏(大阪大学大学院准教授・阪神間文化史研究家)

日下徳一氏(甲南高等学校・中学校元教諭・貴志康一記念室元創設委員)

### ■特別ゲスト

渡邊シズエ氏(貴志康一の妹)

古田悠子氏(貴志康一の親族・フルート奏者)

### ■コーディネーター

井野瀬久美恵(甲南大学学長補佐・文学部教授)

### 休憩

15:30~15:50



貴志康一生誕100年  
記念コンサート

15:50~17:00

中嶋彰子(ソプラノ) ◎J.S.バッハ シュメリ歌曲集より「甘き死よ来たれ」

松本和将(ピアノ) ◎シェーンベルク 「月に憑かれたピエロ」より

〈月に酔う〉

〈おお、いにしえの香りよ〉

◎ヒンデミット ピアノ・ソナタ第1番「マイン川」より 第4・5楽章

◎ヒンデミット 9つの英語の歌より

「彼のカップからお茶を飲むハエについて」

◎R.シュトラウス 「4つの最後の歌」より 〈夕映えのなかに〉

◎R.シュトラウス 「4つの歌」より 〈あすの朝〉

古田悠子(フルート) ◎貴志康一 竹取物語

増田明子(ピアノ) ◎貴志康一 月

中嶋彰子(ソプラノ) ◎貴志康一(貴志康一作詞) 赤いかんざし

松本和将(ピアノ) ◎貴志康一(貴志康一作詞) かごかき

◎貴志康一(日本古謡による) さくらさくら

◎貴志康一(伊勢大輔) 八重桜

◎貴志康一(安部仲麻呂) 天の原

◎貴志康一(貴志康一作詞) 風雅小唄

◎貴志康一(貴志康一作詞) かもめ



Kishi Koichi

総合司会:鶴木千加子(甲南大学スポーツ・健康科学教育研究センター准教授)

## 出演者・パネリストプロフィール(敬称略)



小松一彦 ◎指揮者 ○基調講演 ○パネリスト

東京生まれ。1972年桐朋学園大学指揮科卒業で斎藤秀雄門下の逸材。N響指揮研究員、旧西独ライン・ドイツ歌劇場副指揮者を経て、1978年N響を指揮して正式デビュー。現在、チェコの名門布拉ハ交響楽団常任客演指揮者。1982年関西フィルの常任指揮者として関西に赴任して貴志の作品に出会い、それ以後ライワークの一つとして国内のみならず海外で貴志作品の蘇演、初演に精力的に取り組み、リリースされたCDも10枚を越えている。『貴志康一の伝道師』を自認し貴志康一が1980年代以降再評価され、奇跡的によみがえたのは、小松の尽力に負うところが極めて大きい。これまでにイタリア放送協会賞、中島健蔵音楽賞などを受賞。現在、多忙な演奏活動のかたわら大阪芸術大学大学院教授を務める。著書は『実践的指揮法』(音楽之友社)など。

©溝田聰



中嶋彰子 ◎ソプラノ ○パネリスト

北海道生まれ。1990年全豪オペラ・コンクール優勝。92年サン・カルロ劇場(ナポリ)の「ラ・ボエーム」のムゼッタ役でヨーロッパ・デビュー。99年ウィーン・フォルクスオーバーの専属歌手となり、劇場のトップスターとして活躍。同年デュトワ指揮/N響 フォーレ「レクイエム」で日本デビュー。昨年夏のシュタイナー(オーストリア)音楽祭では『蝶々夫人』のタイトルロールを演じ絶賛を博した。2004年第14回「出光音楽賞」を受賞し、ガラコンサートでは「赤いかんざし」を披露した。現在ウィーン在住だが、ヨーロッパのみならず日本での舞台も多く、今日最も注目されているソプラノ歌手のひとり。CDは『ラ・バストレッラ』『女の肖像』『愛の喜び』など。

©K.Miura



松本和将 ◎ピアノ

岡山県生まれ。1998年第67回全国音楽コンクール優勝。2003年エリザベート王妃国際コンクールで日本人最高位の第5位入賞。99年より各地で活発な演奏活動を開始し、国内はもとよりブラハフィル、ベルギー国立オーケストラなど海外のオーケストラとの共演も多い。また、中国、米国、ドイツなどの演奏会にも出演。CDもピクターエンターテイメントよりすでに7枚をリリース。現在、ベルリン芸術大学大学院に留学中だが、ドイツと日本を往復しながら、意欲的に演奏活動をおこなっている。



古田悠子 ◎フルート ○特別ゲスト

神戸生まれ。旧姓貴志。母貴志桃子は康一の従妹。1975年大阪音楽大学器学科フルート専攻卒業。フルート協会新人演奏会、日演連推薦演奏会などに出演。NHK-FM「午後のリサイタル」、MBS「オーケストラがやって来た~幻の星~指揮者・貴志康一」に出演。大フィル、日本テレマンアンサンブルなどと共演。現在は音楽を通じて地域社会に奉仕するボランティア活動に従事。東京在住。



増田明子 ◎ピアノ

京都生まれ。1975年神戸女学院大学音楽学部ピアノ科卒業。伊達純、池田洋子に師事。早くから貴志康一に关心があり貴志作品の伴奏ピアニストをつとめている。



渡邊シズエ ○特別ゲスト

1916(大正5)年、大阪生まれ。貴志康一の4番目の妹。岐阜の渡邊家に嫁す。亡夫甚吉は参議院議員、東海テレビ副社長などを務めた。岐阜市在住。



小野高裕 ○パネリスト

大阪大学大学院准教授。歯科医。阪神間文化史研究家。著書に『阪神間モダニズム』(淡交社)『モダニズム出版社の光芒—プラトン社の1920年代』(淡交社)(いずれも共著)など。



日下徳一 ○パネリスト

甲南高等学校・中学校元教諭。貴志康一記念室の創設にかかわり、『貴志康一作品集』(音楽之友社)の編集をはじめ、レコードやCDの制作、コンサートの開催などにも協力。著書に『貴志康一～よみがえる夭折の天才』(音楽之友社)など。



井野瀬久美恵 ○コーディネーター

京都大学大学院文学研究科(西洋史学専攻)博士課程単位修得退学。博士(文学)。甲南大学文学部英語英米文学科教授。2008年4月学長補佐に就任。朝日放送番組審議会委員(副委員長)、兵庫県長期ビジョン委員会委員、大阪府河川整備委員会委員、和歌山市教育指導主事など多数の学外委員を務める。

学校法人

X 甲南学園

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1 TEL(078)431-4341(大代表)  
<http://www.konan-u.ac.jp>

甲南学園は2009年に創立90周年を迎えます。